

宮城県の広瀬川流域でゴミ拾いを実施

回胴遊商では、近年、各支部単位で地域に根ざした環境保全活動を実施しております。

東北支部においては、9月28日(土)に杜の都・仙台のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる広瀬川とするため、100万都市仙台の1%となる1万人をキーワードとして、市民・企業・行政などで実行委員会をつくり活動を展開している「広瀬川1万人プロジェクト(宮城県広瀬川流域)」に参加してゴミ拾いを実施いたしました。

当日は、晴天に恵まれ集合場所である仙台駅から、大型バス2台に分乗して午前10時前に現地へ入りました。ボランティアとして81名が参加し、10時から12時までの2時間、「広瀬川流域の牛越橋付近」でゴミ拾いに汗を流しました。

今回拾い集めたごみの量は45リットル袋4個にもなり、ごみの種類としては、たばこの吸い殻、空き缶、ペットボトルなどが目立ち、大きいものでは一輪車がありました。

終了後、参加者からは、微力だが仙台のシンボルである広瀬川の自然環境を守る活動に参加することができて良かった、来年以降も継続してやりたい等の声が挙がりました。

清掃活動終了後は別の場所に移動して東北支部の活性化及び組合員等の親睦を図るための懇親会を開催しました。



[ごみ拾い等の作業風景]

<①作業風景>



<②作業風景>



<③懇親会風景>

